



## 各区が抱える問題などを検討

5/23 安曇野市市長会設立総会

市内にある83区の区長で構成する市区長会は5月23日、初の総会を県安曇野庁舎で開きました。市区長会は、各区が共通して抱える問題などの検討や親睦、情報交換をするため設立されました。この日は、役員承認や本年度の事業計画を決めました。初代区長会長に選出された河村佳次さん(穂高有明・豊里区)は、「区はどうあるべきかという大きな課題を抱えている。区や区長の位置付けや未加入者の問題など、皆さんの意見をお聞きしながら取り組みたい」とあいさつしました。



## Iターン者との地域づくりを考える

5/26 ふるさとづくりフォーラム in 安曇野

NPO法人・長野ふるさとづくり応援団は5月26日、Iターン者と地元住民の交流による地域づくりを考える「ふるさとづくりフォーラム in 安曇野」をスイス村サンモリッツで開催しました。この日は、約80人が参加。県や市へのIターン希望者の状況や地域が抱える課題などを話し合いました。参加者からは「人との交わりが嫌な人は、田舎暮らしは向かないのではないか」「区についての情報が少ない」などの意見が出されました。次回は、11月ごろに開催される予定です。

## 緑を守り育てる心を

6/2 第18回全国「みどりの愛護」のつどい

第18回全国「みどりの愛護」のつどいが6月2日、国営アルプスあづみの公園で行われました。この日は、皇太子ご夫妻をはじめ全国で緑化活動に取り組む関係者など約1,500人が参加。式典では、みどりの愛護活動で功績のあった県内外の98団体の表彰や事例発表が行われたほか、堀金の小田多井子ども育成会・小田多井にこにこ会の両角達也君と中野優衣さんが「誓いの言葉」を発表しました。また、皇太子ご夫妻と関係者によるエドヒガンザクラの記念植樹で、開式の辞を務めた平林市長は「先人が守り育ててきた自然・風景・文化を愛し、緑を育てることは、私たちの責務です。植樹する桜の木々が常念岳に見守られたこの地で満開の花を咲かせることを祈念します」とあいさつしました。



## 初夏のほんのり甘い味を満喫

5/20 第19回あかしや祭り

第19回あかしや祭りが5月20日、豊科南穂高の安曇野の里で行われました。このお祭りは、万水川一帯のアカシヤの花が咲くころに地元の地域住民が主体となり、毎年開催しているものです。この日は、市内外から家族連れなど約1,500人が来場。名水のお茶サービスやニジマスのかみ取り、特産品や伊勢志摩の海産物の直送販売などが行われました。また、アカシアの天ぷら試食コーナーは、店の前に長い列ができるほど大賑わいでした。試食した人は「花の匂いがする」「ほんのり甘い」と話し、初夏の味を満喫していました。



## きびきびとした動きで、優勝を競う

6/10 安曇野市ポンプ操法大会

安曇野市消防団ポンプ操法大会が6月10日、スイス村サンモリッツで開かれました。大会には、ポンプ車操法の部に9チーム、小型ポンプ操法の部に8チームが出場し、数カ月に渡る練習の成果を競い合いました。今大会の各部上位2チームおよびラッパ隊は、7月1日に安曇野市内で開催される松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会に出場します。なお、結果は次のとおりです。  
▶ポンプ車操法の部 優勝：第13分団第3部 準優勝：第13分団第1部 敢闘賞：第7分団  
▶小型ポンプ操法の部 優勝：第1分団 準優勝：第6分団 敢闘賞：第12分団第2部



## 郷土食「氷もち」を非常食に

5/2 安曇野市日赤奉仕団 寄贈

安曇野市日赤奉仕団(等々力秀和委員長)は5月2日、災害時の非常食として氷もち800個を市に寄贈しました。奉仕団では、氷もちが長期の保存に適していることに着目し、「非常食としても活用してみても」と市に提案しました。等々力さんは、「郷土食である氷もちの作り方を伝承したり、話題にしたりすることで、防災訓練や自主防災組織の活動などを親しみやすく、楽しいものにするきっかけになると思う」と、その可能性に期待しています。